

令和5年度  
学校自己評価報告書

令和6年3月

学校法人阿佐ヶ谷学園  
阿佐ヶ谷美術専門学校

## 1. 学校の教育目標

本校の目的は、アートの教育を以って理想的真、善、美の世界を現実化することにある。そのプロセス、成果によって、社会及び世界に貢献しようとする。その為には精神の自由が必要であり、それは総合性によって得られ、また人間は自然の一員として、そこから学び、それらを通し成業を果たし、成就へと向かう。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことか `必要な目標や計画

学科ごとの良質なカリキュラムの設定

(学校独自の理念を基軸に)

就職や仕事に結びつく効果的な授業

(学生と社会、それぞれのニーズのバランス)

学生の学びを応援できる充実した施設環境の整備

(リモート授業を活かせる環境の整備)

学生生活における体調管理および保健指導

(新型コロナウイルス感染症等に対応する管理、保健指導)

社会環境に合わせた柔軟な対応

(社会の変化してゆく枠組みに対応)

## 3. 評価項目の達成及び `取組状況

### (1). 教育理念・目標

評価項目	適切...4、ほぼ `適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性か `明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	3
・社会経済のニーズ `等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.5
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など `か `学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズ `に向けて方向つ `けられているか	3

### 1 課題

業界のニーズに応えられているか不安

人間性や社会性の育成が課題

一部コースの目指す方向性が不明瞭

2 今後の改善方策

会社説明会などを通じて業界ニーズとの擦り合わせ

就職だけでなく多様な進路選択をサポート

コースの目的や方向性を明確化

3 特記事項

基礎教育の重視

業界との接点を増やす取り組み

## (2). 学校運営

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・目的等に沿った運営方針か 〇策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画か 〇策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など 〇意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制か 〇整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開か 〇適切になされているか	3.5
・情報システム化等による業務の効率化か 〇図られているか	3

1 課題

意思決定機能の有効性に疑問

入学選考システムの整備

学生情報の一元化

2 今後の改善方策

システムの一元化・刷新

3 特記事項

## (3). 教育活動

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	2.5
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など、資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

## 1 課題

実践的な職業教育の不足

企業・業界団体との連携不足

授業評価体制の不明確さ

## 2 今後の改善方策

カリキュラムへの企業・業界関係者の意見反映

教員の質の向上

## 3 特記事項

最新技術への対応のタイムラグ

## (4). 学修成果

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・就職率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

## 1 課題

就職率の向上

退学率の低減

卒業生・在校生の活躍状況の把握

## 2 今後の改善方策

就職支援の強化

卒業生との連携強化

## 3 特記事項

### (5). 学生支援

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.5
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.5
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

## 1 課題

進路・就職支援体制の充実

社会人のニーズへの対応

高校などとの連携不足

## 2 今後の改善方策

保護者への情報提供

同窓会の活性化

### 3 特記事項

就職意識と保護者の意識のギャップ

## (6). 教育環境

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ <sup>o</sup> 、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

### 1 課題

施設・設備の老朽化

防災対策の見直し

実習施設等の体制整備

### 2 今後の改善方策

計画的な施設・備品の更新

防災体制の強化

### 3 特記事項

## (7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

### 1 課題

教育成果を正確に伝えられていない

### 2 今後の改善方策

3 特記事項

(8). 財務

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査か適正に行われているか	3.5
・財務情報公開の体制整備はできているか	3

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5
・自己評価結果を公開しているか	4

1 課題

個人情報保護対策の強化

2 今後の改善方策

コンプライアンス体制の強化

3 特記事項

個人情報取り扱いのあり方の検討

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

### 1 課題

地域への公開講座・教育訓練の不足

学生のボランティア活動支援の不足

地域ニーズとの擦り合わせ不足

### 2 今後の改善方策

地域連携の強化

### 3 特記事項

## (11). 国際交流

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

### 1 課題

留学生受入れ・派遣の戦略不足

留学生の学習・生活支援体制の不備

国際交流の刷新

### 2 今後の改善方策

留学生受入れ基準の策定

留学生支援体制の強化

新しい国際交流の形態の検討



令和5年度  
学校関係者評価報告書

令和6年3月

学校法人阿佐ヶ谷学園  
阿佐ヶ谷美術専門学校

## 学校関係者評価 (令和5年度自己評価に基づく)

開催日時: 2024年 3月27日 14:00

出席者: 理事長 三輪孝幸  
学校長 甲斐光省  
評議委員代表 橋場尚樹  
卒業生代表 小山弘

### 学校関係者評価・意見

#### <項目1 教育理念・目標>

- 時代の流れが速いので、ニーズを把握できているか不安がある
- 人材育成よりも人間性の育成が重要になってきている
- AIの発展で今後のワークフローが変化することに対応が必要

#### <項目2 学校運営>

- 学生の情報が一元化されていない
- 業務効率化のために、詳細を検討してデータ化し、利便性を重視した体制が必要

#### <項目3 教育内容>

- 教員の業界体験が乏しくなっている
- 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発が必要
- 教員の質の向上や能力開発のための研修が必要

#### <項目4 学習効果>

- キャラクターデザインコースは業界や関係施設との接点が少ない
- 学生の就活意識を高める行動への後押しが必要
- 卒業生との連携を深め、就活意識を高めていく必要がある

#### <項目5 学生支援>

- 同窓会の役割は、アサビと卒業生を繋ぐことよりも、卒業生自身が豊かに生活し充実した仕事ができるよう支援すること
- 学生の就職意識と保護者の意識の乖離が大きくなってきている

#### <項目6 教育環境>

- 建物の老朽化が目立つため、建て替えの検討が必要
- 防災対策として、備蓄品の整備が必要

#### <項目7 学生募集について>

- 学校の雰囲気や状況を正確に伝えられていない部分がある

#### <項目8 財務>

- 財務情報の公開に関する指摘は特になし

<項目9 法令の遵守>

- 学生の個人情報の取り扱いについて、法令的な問題と学生の理解を得ることの兼ね合いを検討する必要がある

<項目10 社会・地域貢献>

- 地域貢献活動はまだ少ないが、今後推進していく予定

<項目11 国際交流>

- 留学生の受け入れ人数のバランスを適切に保つ必要がある  
- コロナ後の交流事業の再開とスタッフの体制づくりを進めている

検討課題

1. 学生の就職意識を高め、キャリア形成を支援するための具体的な取り組みを検討する
2. 保護者向けの印刷物を作成し、就職支援や授業内容、費用負担などについて情報提供を行う
3. 施設の老朽化対策と防災対策を強化するための計画を立案する
4. 同窓会のウェブサイトやオンラインシステムの整備を進める
5. 卒業生や地域社会との連携を強化し、講演会やインターンシップの機会を増やす
6. 留学生の受け入れ体制を見直し、適切な人数設定と支援体制の構築を行う
7. 個人情報の取り扱いに関するガイドラインを策定し、法令順守を徹底する